

「クリエイターの話 ～ 私のイメージの源泉」

スペースデザイン部会員 中島 直美

『継続は力なり』

”続けていたら絶対いい事がある”と恩師の一言。

この言葉信じ作品を創り続けている。誰もが耳にしたことのあるありふれた言葉かもしれない。続けると言う事はそんなに安易なことでもなく、心のどこかに何があっても作品を作り続ける原動力、やる気がなければ中々難しい。

一枚の布は平面である。そんな中に少しでも空間を見出したい。そんな思いがある。
限られた中でのくり返すパターン展開、飽きのこないシンプルな感性のプリントデザインができれば最高ですが、中々そうはすんなり行かないのが現実です。

真っ白な布を染める時、一色の色でも、点、線、面、と表現のあり方で全く違った見え方になるのが面白い。
モチーフはあらゆる自然界の生き物。
シルクスクリーンは制限された版の中で構成されたパターンの繰り返し、失敗はできない。
上下送り、ハーフステップ、四方連続おくりなど、繰り返し版を染めていく。一枚の作品が完成する。

作品を観に来られた方が、ふと、足を止め振り返って観てくれたら嬉しい。
そして作品と何気ない対話をしてくれたらもっと嬉しい。いつかそんな作品が作れたらいいのですが。

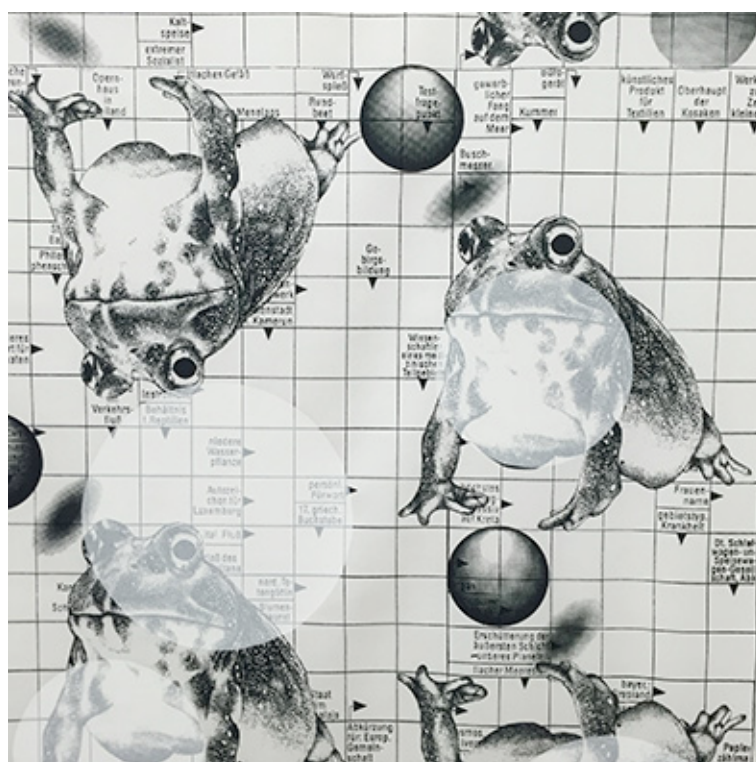
日々、様々なことの繰り返しの連続です。
何事にも前向きに明るく未来に向かって楽しい作品を創り続けて行きたい。

(なかしまなおみ)

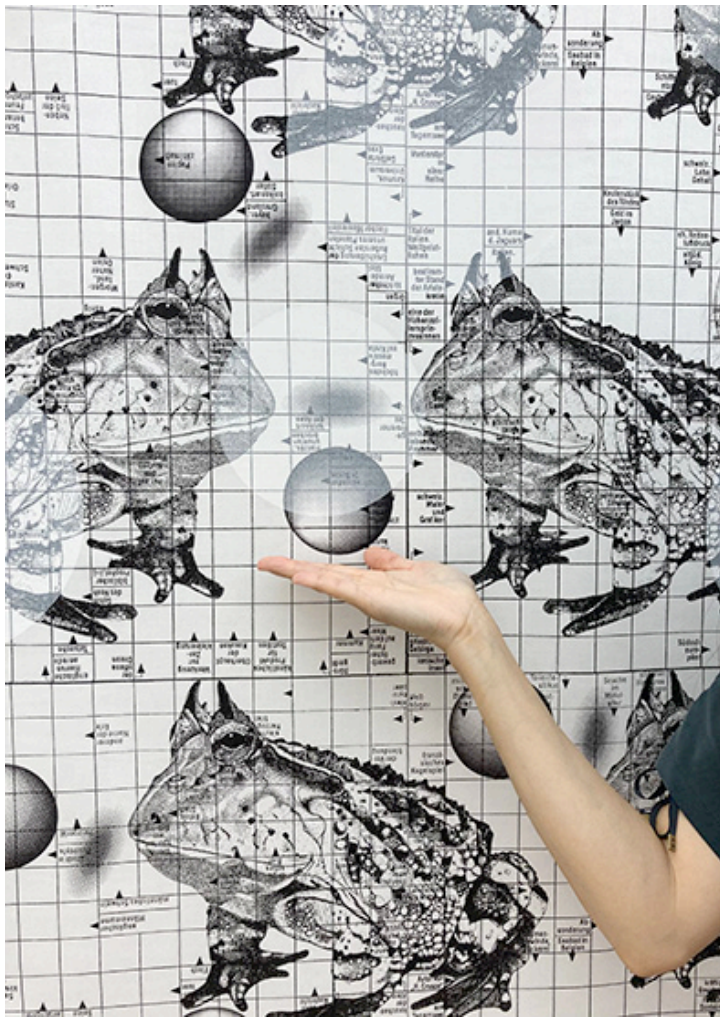
-Nature's Talk series-



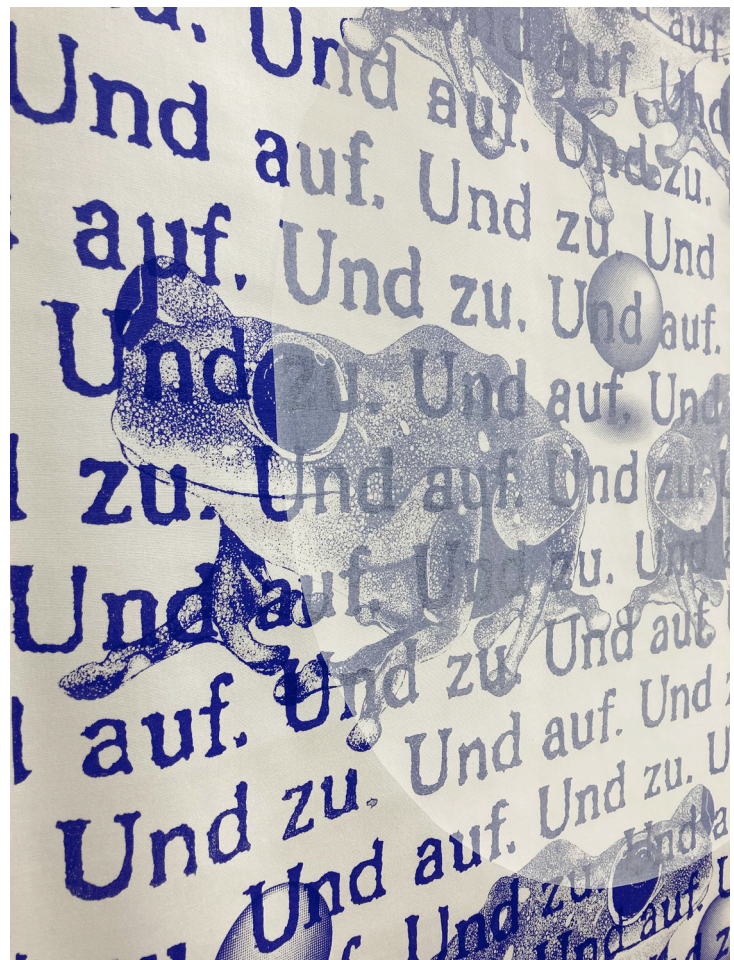
Nature's Talk2018 -series akakaeru-
 小さな小宇宙から飛び出すカエルさんもいれば、ボールを回しながら考え中のカエルさんもいて賑やかなパターン構成。



Nature's Talk 2019-series chako kaeru-
 チャコカエルが楽しく遊んでいる。
 背景にはドイツ語のクロスワードパズルで
 パターン構成。



Nature's Talk 2022-series belltunokaeru-
 ボールを 2 匹のかえるさんが回したり吹いたり遊んで楽しんでいる。背景にはドイツ語のクロスワードパズルでパターン構成。
 ボールに手を差し伸べてみると、まるでボールが宙に浮いているように見えてくる、不思議な感覚を醸し出し、面白い空間を表現できた。



Nature's Talk 2023-series ulugulu kaeru-
 モチーフはオオクサウルグルカエル
 大きな目で見つめ合いながらボールで楽しく遊んでいる様子のパターン展開。



Nature's Talk 2024-series yubinaga kaeru-
コロコロした太っちょカエルさん、でも、指が長い。
und zu und auf (閉じたり開いたり) と、楽しく遊んで
いるようなパターン構成。



1956 山形県生まれ
1990 新制作展初入選、以後毎年 現在に至る。
1996・1998 新作家賞受賞・1999 新制作展 会員推挙

- 主な展覧会 -

1990-2024 新制作展
(東京都美術館・新国立美術館)
1991・93・97・99 デザインフォーラム銀座
(銀座松屋)
1994・2004・2005・2017 所蔵作品展
(東京国立近代美術館工芸館)
1994・95・96・97・98・99
Taegu Textile Exhibition '98 グランプリ受賞(韓国)
1999-2000 日本の工芸今 100 選展
(パリ三越エトワール・日本三越巡回)
1998・2003 ミュルーズ染織美術館
-PAPOLES DE LA NATURE '98' 03 個展 (France)
2004・2008・2018 ミュルーズ染織美術館
常設・所蔵作品展 (France)
2005-2012 テキスタイルの未来形
(大阪・金沢・札幌・福岡・沖縄・東京・網走)
2005・2006 miniartextile Como
-Como・Sardegna・Venezia・Montrouge-
(Italy・France)
2007 Japanese Suppleness
" Contemporary art from Japan " A Galleriet (Denmark)
2021 テキスタイルの未来形 in 宝塚(神戸)
2021 国立工芸館 所蔵作品展(金沢)

- 国内外個展・グループ展・企画展・招待 他多数 -

-Collection-

東京国立近代美術館工芸館・大邱文化芸術会館(韓国)・
ミュルーズ染織美術館 (France)・Arte & Arte(Italy)・
国立工芸館

技法：シルクスクリーン手捺染

作品コンセプト

テーマは -Nature' s Talk series- モチーフは動物。平面である真っ白な布の上に制限された空間の中で、上下左右バランスの良い飽きのこない緊張感あふれる、くり返すパターン展開を構成。新制作展では壁作品を発表しています。広い空間で作品を発表できることを嬉しく思っております。布は切ったり、縫ったり、包んだりと自由自在。 布以外の素材ではガラス、木、紙と色々な異素材にプリントしインスタレーションなどを展開し発表しています。

<作品展のご案内>

jtc テキスタイルの未来形 in 2025

宝塚市立文化芸術センター

2025.2.22～3.23

Today's Art Action

千疋屋ギャラリー

2025.3.4～3.8

作品を展示いたしますので、
どうぞ宜しくお願い致します。